

始業式式辞（平成 29（2017）年 4 月 10 日（月））

春風や闘志いだきて丘にたつ

高浜虚子の句だったのでしょうか、「ようし、やってやるぞ」、という若者らしい熱い気持ちが伝わってきます。春という季節は、私たちになにがしかのエネルギーを与えてくれるようです。

本日から、名実共に学校の平成 29 年度がスタートします。午後には、51 人の後輩たちを迎え、生徒 142 人、教職員 31 人、総勢 173 人の北高のスタートです。

皆さんも、心機一転、希望に満ちた新しい気持ちで本日の始業式を迎えたことと思います。この気持ちを大切に、本年度を充実した 1 年にして欲しいと思います。

さて、新しい年度、学期をスタートするに当たり、私から皆さんに心がけて欲しいこと、お願いしたいこといくつか具体的にお話しします。

3 年生のみなさんには、この北高に皆さん自身の足跡（そくせき、あしあと）を残してほしいと思います。学校行事に、部活動に、最高学年としてリーダーシップを発揮し、後輩たちを引っ張り、自分たちの高校生活を立派に仕上げしてほしいと思います。高校生活を仕上げは、なんといっても、進路の決定・実現です。目標を高く掲げ、努力し続けましょう。正しい努力は必ず報われます。

2 年生は、学校に慣れ、気がゆるみがちになるといわれますが、みなさんは、大丈夫ですよ。学校の中堅としての自覚をもってください。3 年生のがんばる姿を通して、1 年後の自分の姿を想像しながら、また、1 年前の自分たちの姿を思い出しながら、時に後輩として先輩を支え、時に先輩として後輩の不安な気持ちに寄り添う、頼られる先輩になってください。そういった意味でも、学校の中心となる学年です。

そして、この北高で 1 年間または、2 年間の高校生活を送ってきた 2、3 年生の皆さん全員へ。

先ほど、着任の挨拶で、この 1 週間に会った北高生の印象について、紹介しましたが、まだ続きがあります。

新しく着任した校長として、地域の方にご挨拶に伺う機会が多いのですが、

地域の方々はみなさんのことを見えています。「ハマユウ園に北高生が入りよったが、ありゃボランティアか。すごいの〜。」「今年も梨の選別作業、手伝ってくれるんやろか。助かっちゃるで。」これらの地域の方々からの評価は、皆さんが、この1、2年間に残してきた足跡です。地域の方々は、北高生の力に期待しています。

どうやら、私だけでなく、皆さんと接した人は、みんな北高のファンになるようです。

そこで、今年度、生徒と教職員、みんなが一体となって目指すチャレンジ目標を、「高めよう人間力、広げよう北高 f a n」としました。

「北高 f a n」。広げたいのは、地域の方々だけではありません。教職員を含め、この学舎に集うすべての人が北高を好きになること。好きになることにより、皆さんの高校生活もより豊かなものになるでしょう。

そして、高めたい「人間力」とは、本校が校訓、Our Mottoとして掲げる「One for All ; All for One . ー自助 奉仕 創造ー」に示す力に他なりません。自助、すなわち、自ら考え、判断し、主体的に行動できる力。奉仕、他人を思いやり、社会に貢献する力、創造、粘り強くやり抜き、常により高い自己をめざす力のことです。

これらの力は、変化の激しいこれから時代を生き抜いていくために必要な力です。チームとしての力が求められる時代ではありますが、その基盤になるのは、個人の力です。コンピュータをはじめ、情報機器が発達する中、個人でもできる時代がすぐそこまできています。人工知能など、多くの仕事がコンピュータやロボットが代用する時代が近づいている中、最後に求められるのも人間力といえるでしょう。

この北高で積み重ねる様々な経験をとおして、個人としての人間力を高め、仲間と支え合い、地域に貢献していく中で、北高 f a nを増やしていく。まさに、One for All ; All for One の精神を胸に刻みながら、充実した1年間になることを期待し、誓い合い1学期の始業式の式辞といたします。